

N 中央労福協ニュース NEWS LETTER

労働者福祉中央協議会（中央労福協）
発行人 南部 美智代
No.160
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 3-8 中北ビル 5F
TEL 03-3259-1287 URL <http://www.rofuku.net>



2020 謹賀新年

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は中央労福協の諸活動にご協力をいただき、ありがとうございました。とりわけ、結成 70 周年の節目にあたっての活動の検証や今後の方向性について、組織の内外より貴重なご意見・ご助言をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

お陰様で、昨年 11 月の総会で「労福協の理念」と今後の活動の指針となる「2030 年ビジョン」を決定し、次の 10 年の活動へ一歩を踏み出しました。私たちは、この理念やビジョンに基づき、すべての働く人の幸せと豊かさをめざし、連帯・協同の力を結集し、「安心・共生の福祉社会」を実現するための取り組みを進めていきます。

世界で格差や貧困が広がり、持続可能性の危機が深まっています。日本でも自己責任論が蔓延し、「助けて」と言えない社会の空気が強まっています。今こそ、貧困をなくし「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会をめざす SDGs の目標達成や、「助け合い・支え合い」を社会に根づかせていくために、私たちが真価を発揮する時です。

そのためには、労働組合と協同組合がそれぞれの役割を果たすとともに、相互に連携していくことが極めて重要です。ILO（国際労働機関）と ICA（国際協同組合同盟）は、ディーセント・ワークの実現や協同組合の促進においてパートナーとしての関係を深めています。日本においても、労働運動と労働者福祉事業が「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を広げるとともに、公的セーフティネットの強化との両輪で、安心して働き暮らせる地域共生社会をつくっていくことが必要です。

中央労福協は、これからも「福祉はひとつ」という原点を大切に、労働運動と労働者福祉事業をはじめ、消費者運動、NPO・市民運動などを“つなげる”役割を果たしていきます。それぞれの多様性を認め合いながら、様々なネットワークで「つながる運動」を広げ、ともに新しい社会や時代を切り拓いていきましょう！



 労働者福祉中央協議会
NATIONAL COUNCIL OF WORKERS' WELFARE

会長 神津 里季生